

# 協会だより

No. 159

平成24年2月発行



秩父鳶組合はしご乗り

## 「消したはず 決めつけないで もう一度」

【平成23年度 全国統一防火標語】

編集・発行／秩父防火安全協会（秩父消防本部内）TEL.0494(21)0121



## 新春のご挨拶

秩父防火安全協会 会長

雨宮 鹿之助

会員の皆様方におかれましては、平成24年の新春を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

平素より秩父防火安全協会の事業運営につきましては、会員の皆様をはじめ多くの関係者の方々に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、記憶に残るのは3月11日に発生しました宮城県牡鹿半島沖を震源とする「東日本大震災」の一言に尽きると思います。日本列島を襲った未曾有の大地震、これに伴う大津波による多数の死傷者、家屋被害等、更には原発事故による多数の住民の避難が行われ、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。この歴史上類を見ない大災害を新聞、テレビ等を見て、心を痛めた年でありました。

昨年の11月に本協会研修事業で被災地を訪れ、実際に被災8か月後の被災地の状況を目の前にして被害の大きさ、災害復興の遅れに驚くとともに被災者の方々に心から「頑張れ」と応援をしたいと感じました。

幸いにして秩父地方には大きな被害はありませんでしたが、停電等によりライフラインに一部支障が生じ、災害の大きさを感じたことと思います。

災害に対しては、地域住民が「自分たちは、自分たちで守る！」という連帯意識を持ち、自主防災活動を行う事が重要であると考えます。これを根付かせ、指導等を行う消防機関などの行政機関に対して側面から協力し、災害に強い社会、更には社会公共の安全に寄与するために会の総力を挙げて協力して行きたいと考えております。

当協会は、昭和37年に「秩父防火協会」として設立し、その後、昭和55年に現名称である「秩父防火安全協会」と会名を改めました。その間、消防機関との緊密な連携を保持しつつ、防火思想の普及徹底を図り災害を未然に防止するとともに、会員相互の親睦融和に努め、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的として活動を続けてまいりました。

本年は協会発足50周年の節目の年となります、より良い協会を目指して万全を期して行きたいと思っておりますので、皆様方のご指導、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びに、被災地の日も早い復興と会員の皆様のますますのご発展、ご健勝を祈念いたしましてご挨拶といたします。



## 地域の安心・安全のために

秩父消防署長

野 口 政 則

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から消防行政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、また、消防防災活動の推進に特段のご支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年3月の東日本大震災では、未曾有の大惨事となり、多くの尊い命が奪われ甚大な被害が発生しました。大規模かつ広域的な災害は、災害対応にあたる消防職員・消防団員をも犠牲にし、消防機関の広域的な応援態勢の大切さを再認識させられたところです。

当消防本部におきましても、総務省消防庁の要請により、福島原発から20km～30km圏内で発生した救急事案への対応を任務とする救急部隊を緊急消防援助隊として、3月から5月にかけて、福島県へ計4回派遣し支援をさせていただきました。

環境の変化により発生する災害も複雑多種多様化、日本各地で異常気象、集中豪雨により甚大な被害が発生しており、災害の発生は後を絶たない現状にあります。

幸い、当秩父地域においては、地震や風水害等の大きな被害はなく、安寧な暮らしが保持されているところでございますが、今後、当地域においても、それらの発生や影響は十分に考えられ、「備えあれば憂いなし」ということばのとおり、常日頃からの備えや対策をしておくことが重要であり、地域の安心、安全に向け、積極的に取り組んでまいりたいと思います。

また、管内の災害に目を向けますと、平成23年は、火災発生件数が58件(前年比15件、35%増) 救急出場件数4,711件(同268件、6%増) 救助発生件数125件(同17件、16%増)と前年よりそれぞれ増加しており、火災によって尊い命が犠牲になるなど、災害情勢は予断を許さない状況です。

大規模地震や風水害、化学災害など、情勢は著しく変化し、住民からの災害に対する「安心・安全」は、今まで以上に関心が高まる中、消防の役割は益々大きなものとなってきております。

消防署は、国民の生命、身体、財産を守る事を任務とし、地域と接する第一線の消防機関であります。消防に通報や出動要請があるときは、要請する側には、何らかの不安や危機感がある時であります。どのような事でもすぐに対応、相手の不安を少なくし、適切な判断の上に活動をする初動体制をとって行きたいと思っております。

今後もさらに、いつ何処で発生するか分からない災害に対し、最善の消防力が発揮できるよう、職員一人ひとりの意識の高揚と知識・技術の研鑽を図り、署員一丸となって、安心・安全の地域づくりと信頼される消防を目指して、消防業務を行ってまいりますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の発展と会員皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



# 県外視察研修実施



## 県外視察研修報告

秩父ガス株式会社 宮前 隆一

明けましておめでとうございます。会員の皆さまには輝かしい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年(平成28年)の11月23日(水・祝)、24日(木)の二日間に実施された、役員視察研修会に参加いたしました。

今回の視察の目的は、石巻周辺及び東日本大震災被災地の視察と塩釜地区防災安全協会へのお見舞いであり、事務局も合わせた全16名の参加でした。

23日早朝にバスで秩父を発ち、一路、宮城県へ向かいました。石巻市雄勝町周辺に午後になって到着し、バスを走らせながら、車中より状況を視察いたしました。予想していたとは言え、実際に何も無い光景を目の当たりにすると何も言葉がでませんでした。山間部に仮設住宅がぽつんとあったのが印象的でした。

その夜は松島に宿泊いたしました。情報交換を十分にして寝付いた翌朝4時半前に福島県沖で地震があり松島も震度3で、皆さんが飛び起きる事となりました。

その朝、空いた時間に瑞岩寺を観光いたしました。前日着いたときには暗くてわかりませんでした。比較的被害が無かったと言われる松島でも海岸近くの商店では傷跡が見て取れるところがありました。また、瑞岩寺の長い参道の途中にここまで水が来たという印が打ってあり、被害を免れた事がわかりました。

その後、塩釜消防本部を訪問いたしました。雨宮会長より鈴木塩釜地区防災安全協会会長へ義援金の贈呈がありました。次に、塩釜消防本部より当署で作成された記録映像と資料を使って震災の説明を受けました。津波が押し寄せてくる映像は凄まじいものがありました。署員の皆さまの献身的な活動もわかりました。幸い署員・家族の犠牲者は無かったようですが、特に港の製油所が火災になり大変だったそうです。志賀消防長より「今回見聞きした事を帰ってからまわりに発信してほしい」とのお話がありました。

本部を後にし、塩釜市内もバスの中より視察いたしました。こちらは半壊した商店街が連なっていました。瓦礫がうず高くなっている場所がいくつもありました。

2日間を通して、復興までには時間がかかるであろうことがわかりました。私もお役に立てることは何かを心に留めながら生活していきたいと思えます。

最後に被災地の皆さまのご健康をお祈りして、今回のご報告といたします。



## 義援金の贈呈



県外視察研修2日目の11月24日、塩釜地区消防本部において研修会の終了後、秩父防火安全協会雨宮会長から塩釜地区防災安全協会鈴木俊一会長へ義援金の贈呈式が行われました。

この義援金は平成23年度定例評議員会で了承されましたものでありますが、通常の寄付ではなく支援を必要としている志を同じくする団体を直接支援したいという雨宮会長の意向により今回の贈呈式が実現いたしました。

鈴木会長のお話によりますと今回の震災は会員事業所にも大きな被害をもたらしたそうですが、協会一丸となって復興に向けて徐々に動き出しているとのこと。義援金の金額は10万円と復興支援としては十分な金額ではありませんが、有効に活用していただきわずかでも早期復興の助けになればと願っております。

## 甲種防火管理再講習会実施



去る2月9日(木) 秩父消防本部において、甲種防火管理再講習会が開催され30名の方が受講されました。

再講習の対象となる防火管理者は、劇場・店舗・ホテル・病院など不特定多数の人が出入りする建物(特定防火対象物)のうち、建物全体の収容人員が300人以上の防火管理者です。

## 最新鋭消防車配備

秩父消防署に最新鋭の消防車(CD-1型)が2月8日に納車されました。

この消防車には、通常積載している機材の他、泡消火システム(CAFS)及び三連梯子(電動式昇降装置)を装備しています。CAFSとは、コンプレッサーにより水と消火薬剤の混合液に空気を圧入することで生成された泡を放射する装置です。これにより消火能力の更なる向上が図られます。配備先は秩父消防署皆野分署です。



# 平成24年 春の火災予防運動

平成24年3月1日(木)～3月7日(水)

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

## 重点目標



- 1 住宅防火対策の推進
- 2 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 4 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 5 林野火災予防対策の推進

## 平成23年 火災・救急・救助の実態

### 火災

火災発生件数は、平成22年に比べ15件増加しています。  
このうち、建物火災は6件増加しています。

### 平成23年 市町別火災統計

市町別	区		火災件数										り災棟数			死傷者		焼損面積等			損害額 (千円)				り災世帯数			り災者数
	分	全	建物		林	車	そ	合	全	半	小	死	傷	建	林	車	建	収	そ	合	全	半	小					
			全	半																				部分	ほ	の	計	
秩父市	3	1	3	9	3	1	12	32	3	2	16	2	5	393	311	2	15,702	1,533	2,982	20,217	2	2	11	40				
横瀬町	1		4	1		2	1	9	1		5		1	114		3	5,077	226	225	5,528	1		2	7				
皆野町	2			1	2		3	8	2		3	1	2	203	60		8,117	4,876	51	13,044	1		1	3				
長瀬町	1			1				2	4		2		1	117			817	365		1,182				2	5			
小鹿野町	2		2				3	7	6		2			458		1	7,094	4,679	53	11,826	1		1	4				
合計	9	1	9	12	5	3	19	58	16	2	28	3	9	1,285	371	6	36,807	11,679	3,311	51,797	5	2	17	59				

### 主な出火原因

たき火(枯草焼き等含む)・・・7件	ストーブ・・・・・・・・・・・・・3件	取灰・・・・・・・・・・・・・2件
焼却炉・・・・・・・・・・・・・4件	放火・・・・・・・・・・・・・3件	その他・・・・・・・・・・・・・15件
たばこ・・・・・・・・・・・・・3件	放火疑い・・・・・・・・・・・・・3件	不明・・・・・・・・・・・・・13件
こんろ・・・・・・・・・・・・・3件	配線器具・・・・・・・・・・・・・2件	

## 救急

救急出場件数は、前年に比べ268件増加しています。  
 主な増減としては、急病が247件増加し、転院搬送が46件減少しています。

### 平成23年 市町別救急出場件数

市町別	区分	出場 件数	不搬 送件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別													
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
															転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等	そ の 他
秩父市		2,957	198	2,814	5			309	20	12	388	12	52	1,688	451	4		16
横瀬町		411	37	381	1			52	7		65	1	6	264	8			7
皆野町		481	24	467	2		1	49	4	1	61	2	6	254	92		1	8
長瀨町		286	14	278			4	27	2		58	1	10	177	5			2
小鹿野町		571	28	554				41	8	4	71	2	8	357	66	1	1	12
その他		5	4	2				4			1							
計		4,711	305	4,496	8	0	5	482	41	17	644	18	82	2,740	622	5	2	45

## 救助

救助発生件数は、前年に比べ17件増加しています。

### 平成23年 市町別救助発生件数

市町別	区分	発 生 件 数	事 故 種 別												
			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 機 械 に よ る 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ ス 及 び 事 故	破 裂 事 故	事 そ の 他 の 故	そ の 他			
												そ の 他	山 岳		
秩父市		79	4	20	1		6	1					47	35	12
横瀬町		12	1	4			1						6	5	1
皆野町		9	1	4	1		2						1	1	
長瀨町		10		4	4								2	2	
小鹿野町		15	1	4			1						9	4	5
計		125	7	36	6	0	10	1	0	0			65	47	18

## 新入会員紹介



### フコク生命秩父営業所

営業所長 越水 努

秩父市上野町12-10 TEL 23-2836/FAX 24-7821

この度入会させて頂きましたフコク生命秩父営業所です。よろしくお願いいたします。最近、生命保険も通信販売や来店型販売など販売経路が多様化しております。当社は今後も営業職員による対面販売を堅持し、お客様から選ばれる会社、信頼される会社を目指して努力してまいります。現在、秩父営業所には、32名の営業職員が在籍しておりますが、フコク生命の名前を地域の皆様知って頂けるようキャンペーン活動を実施しております。皆様のお役に立てるように頑張ります。



### 秩父陸送有限会社

代表取締役 中野 繁

秩父郡皆野町大字皆野615-3 TEL 62-0891/FAX 62-1863

この度秩父防火安全協会に入会させて頂きました秩父陸送有限会社です。当社は関東近郊を中心に石灰石・生石灰・石炭などの運搬を主とした運送会社になります。昭和37年8月に会社を設立してから本日まで安心・安全を第一に考え輸送業務に従事して参りました。今後は秩父防火安全協会の一員として、より一層防火管理徹底に務め事故のないよう精進させていただきます。よろしくお願いいたします。



### 秩父染色株式会社

代表取締役 磯部 孝則

秩父市荒川上田野570 TEL 54-0355/FAX 54-0358

この度入会させていただきました、秩父染色㈱と申します。弊社は、生地染色、整理、プリント。世界で唯一弊社しかできない、秩父ちぢみを製造しております。近年では、弊社のような会社は、不況のせいかだいぶなくなってきております。そんな中、旧山本織物化学整染㈱を買取り、秩父商工会議所様をはじめ、埼玉信用組合様、日本政策金融公庫様と、皆様のお力を借りて、再び新会社としてスタートいたしました。これからも、皆様の御指導御鞭撻を、よろしくお願いいたします。



### みどり化学株式会社 みどりが丘工場

代表取締役 堀江 晴夫

秩父市みどりが丘4-3 TEL 63-2211/FAX 63-2212

今年度入会させていただきました。弊社は1951年創業、医薬品中間体、電子関連薬品、香料、化粧品原料などのファインケミカルの製造販売業務を行っております。昨年3月11日の東日本大震災の際、東電原発事故の警戒区域内に有った弊社2工場が操業停止となる被害にみまわれましたが、多くの方々のご協力と激励の下、昨年11月からみどりが丘工業団地で新たなスタートを切ることができました。社員一丸となり独自の技術を活かし社会に貢献していきたいと思っております。今後協会の一員として防火管理の徹底に努め事故のないよう努力していきます。



### 学校法人英進学園 秩父国際幼稚園

理事長 山浦 英太

秩父市上町2-17-34 TEL 22-0837

日本人の先生と外国人の先生とが協力しながら保育を進めていく新しいスタイルの幼稚園です。幼稚園での日々の生活は子供一人ひとりの個性と能力を伸ばし心身ともに新しい時代を生きる国際人となるための基礎づくりをしています。

## お知らせ

### ■ 危険物取扱者試験・消防設備士試験

平成24年度埼玉県内における危険物取扱者試験及び消防設備士試験の日程等については、2月10日時点で未定となっております。3月中には日程が決まる予定とのことです。詳しくは(財)消防試験研究センター埼玉県支部ホームページをご覧ください。

(財)消防試験研究センター埼玉県支部 TEL 048-832-0747

### ■ 甲種防火管理新規講習について

平成24年度も甲種防火管理新規講習を秩父消防本部において、6月中旬(2日間)に開催する予定です。案内通知は5月に配布予定です。詳細にあつては秩父消防本部ホームページに4月以降掲載します。お問い合わせは秩父消防本部予防課までお願いします。 秩父消防本部予防課 TEL 0494-21-0121